

# 一般質問

## 太陽光発電事業の規制について



中右 憲利 議員  
(令和新風加西)

**問** 太陽光発電は、1,000 平米から 5,000 平米は市条例、それ以上は県条例で届け出等の義務があるが、具体的内容について。

**答** 市は、雨水の排水経路・調整池の検討、パワーコンディショナーの騒音・振動の管理方法等を地域住民と協議するよう指導

し、県は、法面・擁壁・パネルの架台・排水路構造等技術的基準を設け審査指導を行っています。

**問** 1000 平米未満の太陽光発電施設の規制について。

**答** 条例の対象外ですが、事業者から相談があれば地域住民に説明するよう指導しています。また環境課に地域住民と事業者の公害防止協定のひな型があり、参考になればと思います。

**問** 近隣自治体の規制の状況について。

**答** 加東市は発電出力 10 キロワット以上は事業着手前届

け出及び住民への説明、多可町は 10 キロワット以上は近隣説明実施記録と設置にあたっての確約書を添付して届け出、西脇市は 500 平米以上の開発行為について届け出を義務づけています。

**問** 環境・災害・景観等を踏まえた開発行為規制の見直しについて。

**答** 設置の規制ではなく、開発調整条例による指導・調整の徹底と事業者及び土地所有者へ、災害発生危険区域での太陽光発電施設設置を控えるよう注意喚起を行っていきます。

## 市営住宅の状況、子育てについて



衣笠 利則 議員  
(21政会・加西ともに育つ会)

**問** 市営住宅のうち、空き家となった木造住宅の維持管理について。

**答** 長期間空き家になっている木造住宅は、早急に取り壊し工事を行い、用地を売却して処分したいと考えます。

**問** 子供の虐待が大変増加しており、幼い命が親に奪われるニュースが多く報道されているが、加西市の状況はどうなっているか。

**答** 家庭児童相談件数は平成 30 年度が 1,494 件で、平成 29 年度より 272 件も増加しています。虐待や虐待と思われる案件が 598 件で、平成 29 年度と比べると 143%と激増しています。また、以前に虐待行為のあった家庭からの相談が 228 件で、毎日のように相談がある状況です。

**問** 今後の学校教育、子育てについての考えは。

**答** 未来を担う子供たちが様々なトラブルに巻き込まれないように、子供を守るための組織づくりを進め、地域、警察、こども家庭センター等の関係機関と連携して取り組んでいきます。

**要望** 重大な事件が発生してからでは遅く、地域、行政、学校、児童相談所、警察がしっかりと連携して大切な命を守っていく施策を進めていただきたい。

## 教育について



北川 克則 議員  
(令和新風加西)

**問** 小中高連携について。

**答** 「小中連携」には小中交流会や入学前の体験入学、中学校教員が小学校で行う出前授業があり、教職員は小中合同で研修等を行っています。「小高連携」には、北条高校による小学校での英語に

よる読み聞かせ、理科実験教室、地域学習等があり、播磨農業高校とは芋掘りを通じた食育に関する取り組み、ため池での環境学習などを行っています。「中高連携」では、北条高校と市内 4 中学校の生徒と一緒にオーストラリアで語学研修し、播磨農業高校とはトライアルウィークで農業科の特色ある取り組みを経験しています。

**問** 学校の中期的な将来構想の検討について。

**答** (市長) 教育委員会だけではなく市長部局のふるさと創

造部も入り、慎重に大胆にしっかり案を出して、そこを出発点とし、地域での議論を丁寧に行っていきたくと考えます。

**要望** 学校の将来構想に関して、世代別の意見の調査、様々なプランの検討と説明、アンケート等で意見を集約し、十分なプロセスを経た最良のプランを策定していただきたい。

### ■その他の質問項目

・教員間の暴力暴言の事例の有無と予防啓発活動について